

「ソーシャルビジネスのための Web サービスと顧客の創造」研究会
第3回 議事録

日時：2012年3月2日（木） 16:00~18:00

場所：首都圏コンピュータ技術者株式会社 会議室

出席（敬称略、氏名のみ記載）：

川村洋次（初）、伊藤重隆（初）、魚田勝臣、高橋英夫、小碓暉雄（幹事）

議事：

- 1．今回は、研究会メンバーの欠席が多いため、議決事項は次回以降とし、出席者による議題についてのディスカッションにとどめる。
- 2．今回初出席者の自己紹介
川村洋次さま 近畿大学経営学部教授、ISSJ 会員
伊藤重隆さま みずほ情報総研株式会社、ISSJ 副会長&企画委員長
- 3．たたき台配布資料「ソーシャルビジネスモデルフレームワーク」(第1版)解説(小碓)と質疑応答及び自由討論

< 討論内容の要旨 >

- (1) たたき台で EC サイト+ SNS をフレームワーク(IT 基盤)としているが、これが絶対ということではなく、ビジネスモデルによって他の選択肢もある。たとえば、魅力的な HP を作りやすい CMS (Contents Management System) とか。
 - (2) 目標とするビジネスモデルは、次回以降に先送りとする。このため、次回までに幹事案以外のフレームワークやビジネスモデルの提案を次回までに募る。
 - (3) 日本の場合、特に高齢者にやりがい(或いは生きがい)となるソーシャルビジネスとすることが望ましい。
 - (4) 活動期間(2年目標)の中で、フレームワークはメンバーの会社や団体の中で実装実験をするものとする。
 - (5) SNS で「イイネ!」数を増やすとか、ビジネスに人が集まりアクセスを増やすためのソーシャルメディア活性化の仕掛けや、非定型なコンテンツを分析するテキストマイニング的なツールがいるだろう。
 - (6) ソーシャルビジネスの対象は、例えば B2B、B2P、P2P 等、何を指すかで検討範囲も変わってくる。
- 4．次回予定
6月初旬頃で、追って幹事から幾つかの候補日を挙げてメンバーに都合を伺う。

以上